

令和6年度第1回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時：令和6年6月21日（金）午後2時00分～4時10分

場 所：名張市役所 1階 大会議室

出席者：（敬称略）

（1）委員

堀越 光春 （市民公募）
澤田 恭子 （市民公募）
古谷 久人 （地域づくり代表者会議副会長）
中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授）
樋口 恵一 （大同大学工学部建築学科准教授）
平岡 祐一 （三重交通株式会社伊賀営業所所長）
山出 大介 （【代理出席】株式会社メイハン総務課長）
久保 博嗣 （近畿日本鉄道名張駅駅長）
豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）
尾上 義文 （三重交通労働組合伊賀支部支部長）
小島 光洋 （国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）
山本 聖 （【代理出席】三重県地域連携・交通部交通政策課係長）
松永 全 （【代理出席】伊賀建設事務所保全課課長代理）
中村 岳彦 （名張市副市長）
伊集院 時仁 （名張市都市整備部部長）
野口 泰弘 （名張市地域環境部部長）

（2）オブザーバー

高橋 拓也 （三重交通株式会社伊賀営業所総務係長兼営業係長）

（3）事務局

都市整備部 都市計画室 3名

会議の公開・非公開：公開

傍聴人：2名

議 題

協議案件1 令和5年度事業報告及び収支決算について （資料1-1 ～ 1-4）
協議案件2 事業進捗管理・評価について （資料2-1 ～ 2-5）
協議案件3 コミュニティバス事業評価に係る評価指標の変更について （資料3）
協議案件4 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について （資料4-1 ～ 4-3）
報告案件1 名張市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について

議事内容

1 開会

2 会長あいさつ

会長：本日は、お忙しい中、出席いただきありがとうございます。平素は、ご協力いただき、また、それぞれの立場でご尽力いただきありがとうございます。

さて、昨年度議論いただき、策定しました地域公共交通計画については、通院、買い物、通学等の日常的な移動の利便性向上はもとより、福祉、観光、環境等の他の分野や施策に必要とされている移動手段を連携、協働させながら、市内の拠点間、地域間をつなぐネットワークづくりを推進することとしている。

昨年度はナッキー号について、病院・商業施設への乗り入れ、観光施策との連携もした。

また、市長も総合計画の推進の中で、本年度は子育て支援、空き家対策と並び、公共交通についても重要施策として位置付けている。

効果的、実効性のあるものとして、それぞれの立場の知見においてご意見をいただきたい。どうぞよろしくお願い致します。

○「活発で良い議論ができる会議のために」を基に説明。(小島委員)

3 議事

(事務局より資料に基づき説明)

協議案件1 令和5年度事業報告及び収支決算について (資料1-1 ~ 1-4)
質疑なし、承認。

協議案件2 事業進捗管理・評価について (資料2-1 ~ 2-5)

委員：2-3について、電車60万人減っている。他地域は、コロナ禍前まで戻ってはいないものの、増えている傾向にあるが、減っているのが気になる。輸送力の低下などの心配はないか。

事務局：定年退職や、コロナによる生活様式や働き方の変化によるものかと思っている。

委員：R4もコロナは同じ状況、人口減少とともに、利用者もこのペースで減っていくのではないかと危惧している。広域幹線の利用促進の仕掛けも必要と感じた。

委員：バス停の英語表記の取組を言っていたが、例えば、名張駅前をNABARIEKIMAEといったようにアルファベット化だけしている状況を見る。これでは外国人には伝わらない。AIも発達し、変換しやすいと思うが、英語表記の現状は。

事務局：今回の路線図の変更については、一部の施設について英語表記している。ショッピングとか。駅とかはまだできていない。今後修正していきたい。

委員：固有名詞については、アルファベットのままで良いかと思うが、外国人の利用が想定されるところについては、英語表記を検討していただきたい。

事務局：本市の市議会でも多文化共生の質問が上がっている。固有名詞として表記すべきか、意味として表記すべきか検討する必要がある。委員である近鉄や三重交通とも協議したい。

座長：多言語化については、色や模様で識別する工夫もある。

委員：ナッキー号とはたっこ号を利用している。オークワへの移動手段として利用しているが、次の便まで2時間待つ状況になっている。また、同じ方向に進んでいるため、帰りは迂回してなるため、帰宅まで2時間以上かかる。書いてある内容とあべこべである。

また、「地域で補填できれば無料化するのめ方法」とあるが、地域での補填とは具体的にどういうことか。

事務局：地域での補填については、地域づくり協議会等からの補填や、広告収入など、地域で確保いただくという意味である。オークワの件については、次の交通会議で議論いただくが。

委員：資料 2-2 について、今利用していない方について、感想であるが、バスの絵、川柳については、駅、市役所、バス車内だけでなく、バス停設置しているショッピングセンター等で展示することで、利用していない層にも見てもらえる機会を作れるかと思う。地域との連携のきっかけにもなる。

目標②の課題について、遅延の発生の記載が気になる。乗り継ぎに影響が出ているのであれば、ダイヤ改正を検討いただければと思う。ゆとりのあるダイヤは運転手の安全確保にもつながる。

事務局：バスの絵、バスの川柳は交通安全フェスタで商業施設に貼り出していたこともある。今後も利用していない層への周知として検討する。ナッキー号の遅延解消も含め令和6年8月から時刻変更を予定している。

座長：あららぎ号について、利用者も少ないのであれば、公共交通ではない形、無料にする、利便性を上げるなどの検討もしていただきたい。また、当校で共同研究としてアンケートをする中で、「改善できない」という結論を出す場合もある。

また、昨今の経費増の中、交通事業者の皆様には努力いただいている。今後も下がることが見込めない中、地域コミバスもこのままでは継続できないと思っている。減便して利用者が益々減っていくことは避けたい。地域間での連携などし、バスで走らせるところは、バス。など、連携をしていかななくてはならない。地域の方からも予算を上げてほしいという声も出ている、地域の声も拾いきれなくなってくる。地域住民も経費の部分も知られていない。そういったことを知らせながら、よりよい公共交通としたい。

みどり号は物理的にマックスバリュには乗り入れられないので、迂回か小型化を検討しないといけない。ただ、路線延長や小型化は費用がかかるため難しいとも感じる。

委員：みどり号、自己評価が「精一杯」となっており、地域に負担が掛かりすぎている気がする。地域の意見をどれくらい引き出すか。私は百合が丘の地域づくりの役員に所属している。百合が丘は

百合バスを走らせており、運賃もそこまで負担になっていない。補填も地域内でできる状況。ただ、これから利用状況が変化した時に、補填しきれないことも考えられる。

お絵描きバスもバスに興味のない層へどうアプローチするか。例えば、バスに直接描くのではなく、シートに描いて、バスに貼る方法であれば、バスに興味のない層へもアプローチできる。

委員：限られた便の中で、何を優先するのかという議論が地域の中で必要だと思う。朝夕は、鉄道との乗り継ぎをメインに、昼間は買い物の利便性をメインにダイヤを組むという考え方もある。

委員：お絵描きバスをシートに描いてバスに貼る方式は、以前試みたが経費がかかり掛かるので、難しい。

委員：桔梗が丘駅は待合環境が良くなってきた。美旗駅はトイレ環境が悪い。

委員：ほっとバス錦とあららぎ号の運賃免除の割合が高い。運賃免除分は市から補助があるのか。

事務局：お見込みのとおり補助がある。運賃免除の経費については、地域と市で半々で見るといいか、交通施策全体で見るといいか。子育て施策も絡めてみるとか。検討の必要性はあるのではないかと感じる。

室長：社会保障は市がという視点に立って半額補填している。

座長：たくさん意見がでたので、資料2-5に反映していただきたい。本件承認してよいか。

協議案件3 コミュニティバス事業評価に係る評価指標の変更について (資料3)

座長：利用者数に成果指標は集約し、収支率は確認指標とした。先ほどの樋口委員の意見にもあったように、必ずしも収支率を重視すべきでないということから、このような形している。

協議案件4 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (資料4-1 ~ 4-3)

委員：福祉との共創について、市全域なのか地域レベルなのか。

委員：主に地域コミバスとの共創を考えている。

委員：福祉部局、まちづくりとも連携しながら進めていただきたい。子ども・子育てキャンペーンについて、良い取組だと思う。妊婦については、時期によって、求めるサービスが変わる。安定期はバスに乗れるが、出産間近については、難しい。マタニティタクシーといったサービスもあることから、そういったところの周知も合わせてできるとよい。電話番号を載せるとか。

委員：バスのサイズは。ベビーカーなど載せられるのか。

委員：ベビーカーを置くスペースが確保できる座席を子育てシートとして設定している。

委員：立ったまま乗るという形もある。事故ないように細心の注意を払っていただきたい。

室長：子育てキャンペーンの周知方法について、例えば子育て世帯は、3歳児健診など、病院に行く機会など、未就学児が行く場所にチラシを置くなどの工夫はどうか。

久保：周知については、今後の他の施策の際も含め、チラシを駅にも置いていただければ。

座長：確かに駅に貼っていただくのは有効

4 報告

(事務局より資料に基づき説明)

報告案件1 名張市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について (報告資料1)
質疑なし

5 その他

(三重県、事務局より資料に基づき説明)

○三重県地域公共交通計画について…三重県より説明
質疑なし

○ドンキお買い物便及び三重交通桔梗が丘循環の土日運行廃止について…事務局より説明

○小金井市の交通計画に本市の行き先別時刻表が事例として掲載されることについて…事務局より説明

6 閉会

室長：たくさんの議論ありがとうございました。講評として中村会長。

会長：委員からご指摘いただいた広域幹線の利用減については、もう少し原因を探っていきたい。また、分かりやすい案内も継続して検討したい。組み合わせで施策を展開していくか、どういった手段でいくか、考えていく必要があり、地域のニーズを聴き取ったうえで。効率的に進めるために、マネジメントの方法も勇気を持ってチャレンジしたい。引き続きお願いしたい。